

シニア向け情報

敬老会

9月19日は「敬老の日」です。町と社会福祉協議会では、多年にわたって社会に貢献された高齢者の皆さんの長寿を祝うとともに、相互の親睦を深めることを目的に敬老会を開催します。

とき 9月19日(月)午後1時～3時30分

ところ スポーツセンター 2階
メインアリーナ

敬老会該当者 町の住民基本台帳に登録されている方で、70歳以上(昭和22年4月1日までに出生)の方

アトラクション

- ・大治太鼓保存会
- ・オカリナ同好会等

●案内状は届きましたか

敬老会該当者の方には、案内状を9月5日(月)に郵送します。9月12日(月)までに手元に届かない場合は、民生課までご連絡ください。

●福祉巡回バスを臨時に運行します

敬老会当日は、遠方の方の利便を図るため福祉巡回バスを臨時に運行しますので、ぜひご利用ください。

※臨時運行のため時刻および順路等が通常とは異なりますので、敬老会案内状に同封の時刻表をご覧ください、お間違えのないようご注意ください。

●敬老金の支給額

- 満85歳 5千円
- 満88歳 1万円
- 満95歳 2万円
- 満100歳以上 3万円

※敬老金の支給については、満85歳・88歳・95歳・100歳以上の節目支給です。

●問合せ先 役場 民生課

内線 115・158

老人福祉センター シャドーボックス講座

シャドーボックスとは17世紀のヨーロッパで流行したデコパージュ(切り抜くなどという意味)の技法の一つで、二次元の絵などを立体的に積み重ねて三次元に見せるハンドクラフトです。

初心者でも簡単に作れますのでお気軽にご参加ください。



●シャドーボックス完成品

とき 10月17・24日(月)午後2時～4時

※二日で、一作品を作ります。

ところ 老人福祉センター 集会室

講師 鈴木美津子氏

対象 60歳以上の方または老人クラブ会員

定員 16名

※定員になり次第締め切ります。

●受講料 無料

ただし、材料費として申込時に、

2300円(二作品分)が必要です。
※別途で作品の追加も可能です。
※道具などは準備しますので必要ありません。

申込期間 9月16日(金)～30日(金)

(金)

申込・問合せ先 老人福祉センター
☎(443)0553

シルバー人材センター スーパー等販売員講習

とき 10月17日(月)～19日(水)
午前9時30分～午後4時

ところ 総合福祉センター 高齢者生きがい活動センター内 2階会議室

対象 おおむね60歳以上でシルバー人材センターに新規に入会を希望される方および会員

内容 丁寧な接客マナー、商品の包装・陳列等の基本的な知識および技能講習

定員 10名

申込期限 10月3日(月)

申込・問合せ先 シルバー人材センター
☎(443)1680

7021・8020 表彰のご案内

11月13日(日)に開催するふれあいフェスティバルで次の方を表彰します。

対象 ①70歳以上で自分の歯が21本以上ある方 ②80歳以上で自分の歯が20本以上ある方

注意

- ・過去に町で表彰を受けた方は対象になりません。
- ・広報に氏名および集合写真を掲載することに同意し、フェスティバル当日に出席できる方に限ります。

・歯の本数が確認できない方は、歯科健診を受診していただくことがあります。

申込期限 10月5日(水)

申込方法 電話または来所

申込・問合せ先 保健センター
健康館すこやかおおはる

☎(444)2714

シルバー人材センター 新規入会説明会

入会説明会を毎月第2・第4水曜午前10時から実施しています。

ですので、ぜひ一度シルバー人材センターをのぞいてみてください。
とき 9月14・28日(水)午前10時

※所要時間は1時間程度です。

ところ 総合福祉センター 高齢者生きがい活動センター内 2階会議室

対象 健康で働く意欲のある60歳以上の方

申込・問合せ先 シルバー人材センター
☎(443)1680

公共施設予約システムをご利用ください

お手持ちのパソコンやスマートフォンなどから、簡単に町内の公共施設の空き状況確認や予約申込ができます。ぜひご利用ください。

なお、予約申込には事前に窓口での利用者登録が必要です。詳しくは、お問合せください。

問合せ先 役場 企画課 内線126
公民館内 社会教育課 ☎(443)2671
スポーツセンター ☎(443)7077



歯の健康講座 「歯科と認知症」

海部歯科医師会

65歳以上の高齢者の約4人に1人が認知症またはその予備軍です。高齢化に伴いさらに増加していくだろうと考えられています。国もその対策として平成27年に新オレンジプランを作りました。その中で歯科の役割も挙げられています。かみ合わせが、その発症に影響することが分かっていたのです。

認知症は、記憶障害を中心として脳の働きが低下してしまい社会生活に支障を来すようになった状態です。ネズミの実験では、奥歯を削ってかみ合わせを無くすと記憶力が5分の1に下がってしまい、歯を治してよくなるようにすると再び記憶力が回復してきました。これはかむことが脳を刺激し、また脳への血液の流れをよくすることによるためと考えられています。人間を対象にした調査でも、認知機能に疑いのあるグループほど残っている歯の本数が少ない傾向があり、別の調査でも歯が少ない人ほど記憶などをつかさどる部分の脳細胞が減少していました。

若いころから虫歯や歯周病で自分の歯を減らさないことが認知症の予防につながります。自分の歯が少なくなってしまう方は、そのまま放置せずに入れ歯などで治すようにすれば、その影響を小さくすることができます。健康な老後を過ごすために日ごろのお手入れが大事になってきます。我々歯科医とスタッフがそのお手伝いをさせていただきます。